



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成25年2月19日(火)
第2620回 例会
(本年度第29回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡 例会日 毎週火曜日
(鶴岡市錦町 2-10) (12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(2/26)のメインプログラム

ゲストスピーチ

公益社団法人 鶴岡青年会議所 2013年度理事長 渡邊 孝之 氏
(夕方:インフォーマルミーティング)

次週(3/5)のメインプログラム

雛鑑賞・うどん打ち家族例会

会長挨拶

阿部純次君

東京東江戸川RCより、4月6日(土)の交流会の案内が届いています。例年と違う趣向が企画されているようです、都合のつく方多数の参加をお願いしたいと思います。

2月は、世界理解月間(World Understanding Month)となっております。1905年2月23日(明治38年)、弁護士「ポール・ハリス(1868生・37歳の時)」の働きかけにより、鉱山技師のガスター・バス・ローア、石炭商のシルベスター・シール、洋服仕立業のハイラム・ショーレーの異業種4人がシカゴの「ローア」の事務所で、初めて会合を開いた日ということで、この日2月23日はロータリーの創立記念日と定められました。よって2月は「世界理解月間」と指定されていて、現在は「世界理解と平和の日」と呼ばれております。

この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠な国際理解と友好、善意を特に強調する「クラブ・プログラム」と世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよう要請されています。

また、2月23日の創立記念日は、「世界理解と平和の日(World Understanding and Peace Day)」と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に、強調しなければならないとされております。さらに2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することが決議されました。

ポール・ハリスはアイオワ大学卒業の夏から、5年の予定で放浪生活をしていたそうです。アメリカ全土は勿論のことヨーロッパ方面にまで足を伸ばして見聞を広める一方で、旅の先々での生活の糧を得るために、ありとあらゆる職業を経験しながら、予定の5年に、3か月を残した頃に、弁護士事務所を開くためにシカゴにやってきたとされており、シカゴに定住し弁護士事務所を開設

したのが1896年28歳の時であったということです。

1905年2月23日シカゴ、ノースディアボン街(N127番地ユニティ・ビル711号室)の「ローア」の事務所で、4人がシカゴで初めて会合を開いた日、この日からロータリーは誕生したのであります。ロータリーの名称は誰が付けたかは記録になく定かではないとあります。

当初の目的の一つは会員相互の親睦を深めることでした。やがて会員同士が利便を図り合う「相互扶助」の考えが発生しました。しかし、河の流れが時に向きを変えるように、ロータリークラブも向きを変え、奉仕の喜びを見出したことがその転機となりました。

その後、時代と共に幾多の変遷を経て、次第に今日の基礎が確立してきたのであります。この趣旨に共鳴するクラブが、各地域に次々と国境を越えて生まれ、(2012年11月31日RI公式発表で)いまや200以上の国や地域に広がり、クラブ数34,288、会員総数1,218,199人に達しております。

一方、我が国最初のロータリークラブは1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟を承認されました。そして日本のロータリーは先の第二次世界大戦を経て、幾多の困難を乗り越え、1949年に東京、大阪、京都、名古屋、神戸、福岡、札幌の7ロータリークラブが国際ロータリーに復帰しました。(参考に2012年11月末現在で、日本のロータリークラブは、34地区、クラブ数2,295、会員総数89,225人となっております。)

ポール・ハリスは「ロータリーは寛容の精神」が大切であると言っており、さまざまな考え、反対の意見も充分取り込む「心の広さ」を求められたのではないかと思います。また、このような時代の移り変わりに順応して「ロータリーの物語は何回も書き換えられねばならない」とも述べております。

出席報告

会員数	41名
出席	25名
出席率	65.79%
前々回確定出席率	71.05%

RI会長 田中作次

地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

私たちはもう一度ロータリーの心と原点を振り返って、今後のロータリーの在り方について考えることも大切なのではないかと考える次第です。

神職を志して

荘内神社 権禰宜 石原 和香子 さん

私は鶴岡北高校を卒業し、三重県伊勢市にある皇學館大学文学部神道学科に入学し、神職になるための勉強をしてきました。神職というほとんどが男性です。生徒100人中、女性は10名いませんでした。授業では、神道の歴史、神職の作法、祝詞の書き方などさまざまあります。



入学すると、県外の学生は寮に入ります。先輩との2人部屋でした。そこでは寮生長をはじめ、副寮生長、風紀委員長などの役員を寮生内で選出し、運営していました。寮には神殿があり、朝7時起床、7時5分朝清掃、7時30分朝拝。朝拝では、全員で拝礼し朝ごはんを食べます。

先輩が出寮される前には、寮を運営していく寮役員選挙があります。私は立候補しました。

挨拶まわりで先輩のお部屋を訪ねると、まず志望動機や寮の規則をランダムに当てられます。少しでも目をそらしたり、言葉を詰まらせると強制終了です。何度も何度も先輩方の部屋を回り、やっとの思いで合格をいただきました。これでやっと選挙に出ることができるのです。そして無事当選することができました。

大学3年生からは神道学科の学生が全国の神社にちらばって実習させていただきます。私が研修をさせていただいたところは、東京の靖国神社、愛知県名古屋市に鎮座する熱田神宮、それに三重県の伊勢神宮です。

靖国神社は、戦争で亡くなった方々を神様としている神社です。命日祭と言って、1年中365日神様をお慰めするお祭があります。熱田神宮は三種の神器の一つである草薙の剣をご神体とされております。

伊勢神宮の実習は今まで経験した実習で一番厳しく、過酷でした。伊勢神宮は参道が長いのです。荘内神社の10倍くらいあります。しかも歩く足も揃えていきます。参拝するころには汗だくです。参拝以外でも、食事の作法と言って、食前感謝の歌をうたい、神の恵みに感謝し、無言で食べるなど細かい決まりごとがありました。そのような生活が1週間続きます。厳しくて逃げ出したくなったときももちろんありましたが、実習生全員で一致団結し、乗り越えていきました。

その厳しい実習の中でも、今でも忘れられないことがあります。

通常伊勢神宮は夕方には閉門し、お参りはできません。しかし、この実習の中に一日だけ、夜間参拝と言っ

て、夜8時頃に特別に参拝させていただけることができました。

少し緊張しながら、全員でまた足を揃えていきました。その日はとても静かな夜でした。正宮という一番神様の近くの場所でお参りをします。そこには絹の布が覆われており、その布が動かないくらい静かでした。

全員で参拝し、手を合わせた瞬間、いきなり風が吹いたのです。布が舞い上がり、遠くの神様が呼んでいるかのようにでした。

その参拝後、実習生全員で私たちはこれから先神様にご奉仕していくんだと決意を固めた記憶があります。

4年間の授業、実習を経て無事神職の資格を取得することができました。

現在は宗教というとなんだか怖い、信じているものなんてないと言う方が多いと思います。でも私は神道を信じるというよりも、日ごろの感謝の気持ちを大切にしましょうということだと思います。昔の日本人が守ってきたものをしっかりと後世に伝えて、残していったからこそできることです。これはどの仕事でも同じだなと思っています。

これまでの経験、これからの目標を胸に、奉仕していきたいと思っています。



委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

石原和香子氏（荘内神社 権禰宜）

金紅蘭さん（米山奨学生）

◎ビジター

鈴木考純君（鶴岡西RC）

◎皆出席

28年 塚原初男君

29年 佐々木喆彦君

◎メイクされた方

青柳孝治・前田 優

スマイル 😊

阿部純次君 貴重な体験談ありがとうございました。今後立派な神主になることを期待しております。

橋本 至君 3/1で酒田営業所に転勤することになりました。1年半という短い期間でしたがいろいろお世話になりありがとうございました。